

### 事業名

# こどもと高齢者の居場所づくり事業

### 事業概要

- 夏休み期間に町会会館を開放し、高校生ボランティアによる子供たちの学習支援や高齢者との昔遊び等を実施。ボランティアの募集に当たっては近隣の2校に協力を依頼した。
- 様々な世代の交流が行われるとともに、町会の取組への理解が深まった。

実施期間 令和6年5月8日～9月3日

参加人数 大人11名、子供約55名  
ボランティア（高校生）約70名

事業総額 約10万2,300円  
(地域の底力発展事業助成金 10万2,000円)

### 主な経費（助成対象）

- 物品購入費 水分補給用飲料、自由研究セット、消耗品（雑巾、紙コップ等）  
参加者配布用お菓子
- 印刷経費 チラシ、ポスター
- 役務費 傷害保険

### 役割分担

《企画（1名）》地元小学校でPTA会長を務める副会長が担当  
《ボランティア募集（3名）》町会長らが高校に要請  
《チラシ配布（約11名）》町会役員で分担して配布  
《運営（約80名）》町会役員に高校生ボランティア約70名が協力  
高校生ボランティア協力校

- ・東京都立大田桜台高等学校
- ・立正大学付属立正中学校・高等学校

### 事業の開始から終了までの主な流れ

令和6年  
5月8日 初回打合せ。実施内容・方法を検討  
7月1日 第2回打合せ。ボランティアに担当してもらう内容を確認  
7月10日～8月31日 チラシ、掲示板等で事業を周知  
8月19日～31日 会館を開放し、事業を実施  
9月3日 反省会



事業の案内チラシ。会館を開放して、夏休みの宿題や自由研究、世間話まで子供から高齢者までが交流できることを案内

## 子供から高齢者まで参加 町会会館をコミュニティの拠点に

令和6年8月19日(月)から31日(土)までの13日間、「ほのぼのタイム 町会会館開放2024夏」と題して、町会会館を子供と高齢者が楽しく過ごせる場所として提供した。

運営には、町会の人たちに加え、地元の高校2校から生徒約70名がボランティアとして協力。ボランティアには、事前に組んだシフトにより、参加してもらった。

子供たちには、自由研究セットやお菓子を用意。約55名が参加し、夏休みの宿題をする子もいれば、トランプやベーゴマ、かくれんぼなどをして遊ぶ子たちもいて、ボランティアの高校生や町会の人たちも一体となり、各自が思い思いの時間を過ごして楽しんだ。

会館は神社の社務所を利用している。すぐ裏には交番があり、保護者も安心できる環境となっている。「見かけは昭和レトロですがWiFi環境もあり、子供たちはデジタルゲームでも遊べます。しかし、ベーゴマ等のアナログ遊びで問題はありませんでした」と町会長の菅田さんは話す。

ベーゴマ遊びの指導では、地元小学校のPTAとのつながりで、イベントサークル団体の協力を得た。

参加した高齢者からは「今の高校生は話題が豊富で、色々なことを知っていて関心した」という声が聞かれたほか、「また来てもいいですか」と尋ねるボランティアの高校生もいて、世代を超えて交流が広がった。



ベーゴマで遊ぶ子供たち。遊び方は、ベーゴマの魅力を伝えようと大田区で活動しているイベントサークル「東京ベーゴマ」が指導。ボランティアの高校生と高齢者も一緒になって楽しんだ



### 事業による 成果・効果

## 夏休み中の子供や高齢者たちにとって貴重な居場所に

「共働き世帯が増え、子供が安全で安心して過ごせる環境が不足しています。そこで、高齢者の参加も含めて、会館の活用を考えました」と町会長の菅田さんは話す。「町会の人たちだけでは見守りが難しいので、近隣の高校2校に協力を求めたところ、約70名が参加してくれました。感謝とともに、この事業を通じて新しいつながりができたことを大変うれしく思います」と説明する。町会の公式LINEアカウントは、事業実施前は登録者が14名だったが、高校生も含めて49名に増えた。会館を安心して集える居場所としてさらに活用していきたいと菅田さんは考えている。

### 事業を振り返って

## 声

## 町会の活動を外に見えるようにしていく

「町会を支えてきた人たちが7、80代になり、若い世代が少ないことが町会の課題となっています」と町会長の菅田さん。「活動があまり表には見えないので、若い人たちは町会に入りにくい。子供の居場所づくりなどで会館を開放して、町会の姿を地域の人たちに見えるようにしていくことが大切だと思います」と説明する。副会長で地元小学校のPTA会長も務める金本さんは、「子育て中の忙しい世代にも加入してもらい、今は無理でも時間ができるようになってから活動に参加してもらえたら」と期待している。



町会長の菅田さん(左)は50代、副会長の金本さん(右)は40代。若い世代の参加に期待している